

小中池

(こなかいけ)



全景



堤防上の桜並木と遊歩道

ため池の概要

ため池の所在地

千葉県山武郡大網白里町

ため池の特徴

小中池は、昭和8年に着工し、途中第二次大戦をはさんで多くの悪条件に悩まされながら昭和22年に漸く完成した農業用ため池で、現在も634haの水田を潤しています。

周囲は小中池公園として遊歩道が整備され、春は桜、夏はアジサイ、秋は紅葉と四季を通じて自然を楽しめる市民の憩いの場となっています。また、ウグイス、ホオジロ、シジュウカラ等の多くの野鳥が生息していることでも知られています。

10年ほど前「小中川をきれいにする会」が組織され、小中川の水質浄化等を通じ、近隣に生息しているメダカやゲンジボタルを呼び戻す取り組みが行われています。

公園は「千葉市昭和の森」に遊歩道で繋がっており、首都圏自然歩道の休憩所にもなっています。池には錦鯉が放たれ、4月下旬から5月初旬に「鯉のぼり祭り」も開催され、広く地域の人々に愛されています。

関連情報